

宜野湾市につづき、 沖縄市でも社保協結成！

☆☆ご協力ありがとうございました☆☆ **総会に44名参加**
地域包括ケアシステムについて、地域への丸投げがみえてくる
ボランティアで人を守るのには限界があることに気づいてほしい(参加された自治会長より)

地域における貧困とのたたかいはいよいよ正念場を迎えます。政府の社会保障解体計画に対抗して、「市町村」において、社会保障を守るネットワークを築くことは急務です。

4月10日、宜野湾市に続いて、沖縄市社保協結成総会が老人福祉センター「かりゆし園」で行われました。老人会長4名、地域からの初参加の方も多く、全体で44名の参加で成功しました。

総会は、中部協同病院の平良さんの司会で開会
県社保協、高崎事務局長より情勢と方針の提案があり
参加者全員の賛成で採択されました。(以下の6点)

代表には、山川恵吉氏(沖縄民商)を選出
メッセージが自由党と民進党から寄せられ、
中部協同病院職員が読み上げました。



代表に山川恵吉氏

記念講演は、仲西常雄氏(沖縄県生活と健康を守る会会長)
「どうなるどうする社会保障」こどもから大人までの貧困とその原因、
これからの政府の社会保障解体計画までわかりやすい講演でした。

参加者の感想

学習講演について

- *生活保護の受給率の低さに驚いた。
- *憲法25条について、理解を深めることができた。
- 社会保障解体ストップへがんばりましょう。
- *仲西会長の講演は大変わかりやすかった。
- 憲法25条から説明していただきよかった。
- *現在の社会保障制度が大変参考になりました。
- これからの運動の重要性をしみじみ感じました。
- 今後の活動に期待すること



*就学援助で新1年生への給付を早く実現を。

新品のランドセルでこどもがひけを感じないようにしてほしい。

*自治体キャラバンを中心とした自治体への要望と制度の改善に期待

*各地域で今後とも活動していただき広めるべき。

その他

*各団体が協力すれば大きな前進につながっていくと思います。

*地域包括ケアシステムについて、地域への丸投げの方針が見えてくる
地域の小さな介護施設等と地域のボランティアで人を守るというのには
限界があることに気づいてほしい。

**今こそ地域社保協結成と活性化へ！
在住、在勤のみなさまへご連絡ご
支援をお願いします**

○宜野湾市社保協

結成総会 4月6日 42名参加で成功！

○沖縄市社保協

結成総会 4月10日 44名で成功！

○うるま市社保協

準備会 4月26日 10時から中部協同病院
結成総会 6月中旬

○豊見城市社保協

準備会 5月10日 17時生協豊見城事務所
結成総会 7月15日

○南風原町社保協

準備会 4月14日 18時~かりゆしの里
結成総会 5月中下旬

○北部(名護市)他、浦添市、糸満市など

で相談準備中。地域包括ケアシステムに
対応する地域社保協網を作ろう！

沖縄市社会保障推進協議会結成総会 方針案

2017年4月10日

今後の取り組みについては、運営委員会によって詳細豊かに具体化していきます。

2017年度の活動方針の柱を示します。

- 1 憲法 25 条の理念を守り、誰もが安心して健康に幸せに生きていく権利を保障するため、社会保障制度の改善充実をめざします。沖縄県における格差と貧困解決へ提言と運動をすすめます
- 2 国、県、市の社会保障政策をよく学び、市民のための制度をともにつくっていく立場で諸団体と協力し、行政を励まします。同時に、制度改悪に対しては市民とともに反対します。
社会保障制度各分野（医療、介護、障がい、年金、生保、子育て支援など）の問題解決に向けて、加盟団体の活動と英知を持ち寄り、相互に活動が発展できるよう情報や理論の共有、啓発に努めます。
- 3 社会保障制度の拡充を求める自治体キャラバンの成功のため奮闘します。
- 4 地域包括ケアシステムが住民本位のものになるよう、制度内容を吟味し、改善を提案していきます。
- 5 沖縄県内で開催される日本高齢者大会を成功させましょう

役員体制

代表 山川恵吉

運営委員 各団体から 1 名

以上